



◀ 成長に合わせた調節の仕方や着くずれしない着せ方を習う参加者

幻想的な紅葉バックの生ライブに酔う

寒鷺亭で秋のタベコンサート

孔子の里紅葉まつり・西溪公園ライトアップナイトファンタジー初日の11月14日、寒鷺亭で『秋のタベコンサート』が行われました。幻想的な紅葉を眺めながら、市内外から訪れた150人以上が趙勇さんとハミングバードの生演奏や美しい歌声に酔いしれました。

西溪公園ライトアップ実行委員会が、暗闇に浮かび上がる紅葉を多くの人に楽しんでもらおうと点灯式に合わせ開いたもの。市内在住でバンド活動を行うハミングバードは、「岬めぐり」などフォークソングや歌謡曲など6曲を披露。財団法人孔子の里揚琴演奏家で中国東北揚琴学会名誉理事の趙勇さんは、「千の風になって」など6曲を演奏し、キャンドルの光が揺らぐ室内を美しく澄んだ音色が包み、懐かしく口ずさむ人々を心地よくしていました。

23日までの10日間は、多久聖廟もライトアップ。イベント広場では東の原美化クラブのみなさんが竹灯籠とイルミネーションで人々を出迎えました。



▲趙勇さんの演奏に癒され、拍手を送る参加者

晴れ着の着せ方を習って七五三を祝って！

やさしい指導の着付け教室

たく家庭教育支援チーム「このゆびと〜まれ」が10月20日、児童館で『七五三の着付け教室』を開きました。

身近な地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成や子どもの望ましい基本的な生活習慣を育成するため、文部科学省の委託を受けて昨年設置されたこの団体は、中田栄子会長をはじめ13人がスタッフ。各種子育て支援事業のサポート、情報誌の発行、相談対応などを行っています。

無料のこの教室は、児童館の母と子のサロンで開いたもので、「祝い着をお持ちなら自分で着せて、成長を祝って！」と企画。出張着付けなどで活躍の太田由紀子さん（北多久町）が講師を務めました。太田さんは、手早く、きつくなく、動き回っても着くずれしないように着せるコツを伝授。参加者は、「アドバイスをもらいイメージがつかめたので、頑張ってる着せて祝います。保育園の行事など様々に役立つので助かります」と笑顔でした。

新しいバス購入に 好意の寄付金集まる

10/30

多久高野球部のバスが老朽化していたため、学校のゆかりの方や保護者などたくさんの方々から寄付が寄せられて、このたび新しいバスが購入されました。その中で多額の寄付をされた株式会社平成開発の久保直行代表取締役は、10月30日、同校教育後援会の野田勝人会長から感謝状が贈呈されました。久保さんは、「野球部の活躍はもちろん、将来は地域に貢献できるような大人に成長してほしい」と、球児たちへの期待を語られました。



シルバー人材センターの みなさんがまちの美化 ボランティア

10/26

シルバー人材センターでは毎年市内の公共施設や公園などの清掃ボランティアに取り組まれています。今年は、会員47人が老人福祉センター『むつみ荘』で植木の剪定や市役所周辺のごみを収集。むつみ荘では約2時間の作業で切枝が軽トラック3台分にもなりました。丁寧な作業に施設利用者からは「庭がすっきり手入れされて気持ちがいい」と感謝の声があり、会員は「今後も継続して行い、喜んでもらいたい」と答えていました。

